

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第32回〕会議録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第32回〕

2. 開催日時 令和7年8月4日（月） 19時00分から19時30分まで

3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室

4. 出席者氏名

【松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員】※敬称略

松下英樹、中島安治、菅沼文弘、堀木富美夫、清水祐一、高坂龍夫、井澤弘幸、塩澤澄夫、加賀田亮、米山俊孝、寺沢秀文、松下敏章、木下稔、片桐瑞穂、北沢公彦、関悟司、熊谷誠、大石春美、吉澤裕、松浦善文、知久克志

【JR 東海】

名古屋建設部 杉浦担当部長

中央新幹線長野工事事務所 小池所長、水上副所長、外山副長、坪井係長、
小舘主任、佐藤主席

// 大鹿分室 藤原分室長、伊藤係長、小木曾主任

【長野県】

飯田建設事務所 リニア整備推進事務所 石坂次長、井原課長補佐

【役 場】

北沢町長、黒澤副町長、中村建設水道リニア対策課長、後沢係長、
菊池主任、菊池技術顧問

5. 議題

（1）前回の委員会からの報告等について（町より）

（2）発生土運搬等について（JR 東海より〔別冊資料〕）

- ・大鹿村内の工事の進捗
- ・発生土運搬車両の運行状況
- ・その他

6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7. 傍聴人の数

5人

8. 会議資料の名称

- 会議次第（町作成）
- 別冊資料（JR 東海作成）

9. 会議の概要

- （1）開会
- （2）あいさつ
- （3）会議事項
前述のとおり
- （4）その他
- （5）閉会

10. 会議録

（事務局）

時間となりましたので進めさせていただきます。私は本日の進行を務めさせていただきます、建設水道リニア対策課の中村と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、次第 1 番の開会について、松川町区長会長であります菅沼副委員長お願いいたします。

（副委員長）

これより、松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会第 32 回を開会します。

それでは 2 番のあいさつについて、はじめに松川町議会議長であります米山委員長お願いいたします。

（委員長）

皆様改めましてこんばんは。本日の説明会を進行させていただきます、議会の米山でございます。連日の猛暑の中、大変ご苦勞様でございます。

窪地盛土関連と運搬につきましては、工事進捗と運搬計画の変更が生じるということで、今回その説明をしていただけるということでございます。

また、皆様方のご意見をいただきながら事業を進めてきましたが、今後とも皆様方のご意見が事業に反映されますことをお願いいたしまして、開会の挨拶をさせていただきます。

（事務局）

ありがとうございました。続きまして松川町より、北沢町長お願いいたします。

(町長)

改めましてこんばんは。松川町長の北沢でございます。

委員長の挨拶にもございましたが、大変暑い中、また仕事終わりの夜分にも関わらず、ご出席いただきまして大変ありがとうございます。

リニア中央新幹線建設工事対策委員会ということで、32回を数える回となってきております。

本日は、新たに発生土の運搬についてJR東海より説明をいただく部分がございます。区長さん、また先日の大島区の町政懇談会がございましたので説明をさせていただいておりますが、JR東海から話をいただく中で、進めて参りたいと思っております。

また、町としましても地域の安全のために話を進める中で、町の要望を上げていき、協議をしながら進めて参った次第でございます。その内容をお聞きいただきまして、率直なご意見等を調整しながら進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、JR東海中央新幹線建設部名古屋建設部杉浦担当部長お願いいたします。

(JR東海)

皆さんこんばんは。JR東海中央新幹線で長野県の担当部長をしております杉浦禎信と申します。本日はご多忙のところ、リニア対策委員会で我々に説明のお時間をいただきまして誠にありがとうございます。また、皆様におかれましては、日頃から中央新幹線建設事業にご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

長野県内のリニア建設工事は、本格化しているところでありまして、松川町を始め、実際に工事が行われている地域、あるいは工事車両が運行する地域の皆様にご安心いただけるよう、安全に工事を進めてまいりたいと考えているところでございます。

そうした中で、1点ご報告をしなければいけない内容があります。本日の朝9時半頃、中川村渡場の交差点付近で、我々の発生土運搬ダンプとセメント運搬車両とこれリニアにとは違うと聞いていますが、セメント運搬の車両が接触したという事故があったと聞いています。

幸いその双方に怪我があるような事故ではなく、バンパーが傷ついたとかランプが故障したというようなことを聞いていますが、工事車両の安全運行は地元の皆様が最も気になることのひとつだと認識しております。

今後もこれまで以上に、施工会社を通じて安全運転を指導してまいりたいと思ひますし、皆様におかれましては、我々のリニアの車両ということは明示して走らせていただ

いております。ぜひ、厳しい目で見てください、少しでも気になることがあれば、報告していただければ対処していきたいと考えております。引き続きご協力をお願いしたいと思います。

本日の委員会では、大鹿村内の工事進捗状況、発生土運搬車両のこれまでの状況の報告、それから今後について説明をさせていただきたいと考えております。

本日も丁寧な説明を心がけます。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、長野県飯田建設事務所、リニア整備推進事務所石坂次長お願いいたします。

(長野県)

皆さんこんばんは、長野県リニア整備推進事務所の石坂と申します。

本日は皆さんお疲れのところご協力いただきありがとうございます。

本日 JR 東海の方から、発生土の運搬等についてご説明がありますので、十分ご議論いただきまして理解を深めていただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

(事務局)

会議事項に入ります前に事務局から報告をさせていただきます。前回の 4 月の対策委員会から役職の異動などで名簿に変更がありますので、変わられた皆様のご紹介をさせていただきます。

次第資料 2 ページの役員名簿をご覧ください。No.14 の JA 理事が木下様が変わっています。続いて 3 ページをご覧ください。JR 東海の長野工事事務所が 7 月の異動でご覧の体制となっています。同じく 3 ページ下の松川町をお願いします。6 月から技術顧問を委嘱させていただいております。今年 3 月に国土交通省を退職された方になりまして、リニア関連を含めた町の建設事業を円滑に推進するための専門的な技術助言と国県関係市町村との調整役等を必要に応じて支援させていただいております。本日の会議も同席させていただいております。以上、紹介となります。

それではこれより 3 番の会議事項に入りますが、要綱第 5 条の規定により、会議については委員長が議長になりますので、米山委員長の進行でお願いいたします。

(委員長)

それでは括弧 1 番前回委員会からの報告等について、町から説明をお願いします。

（事務局）

事務局から報告をさせていただきます。

前回 4 月の対策委員会の際に、委員の方から質問のありました件 2 点につきまして、その後に検討や確認した内容について、口頭にて説明させていただきます。

一つ目の質問が林叟院横の窪地の造成後の後利用について、二つ目が前河原道路の補強土壁テールアルメ構造の設計施工の安全性の担保についてこの 2 点についてその後の報告と検討した報告です。

一つ目の林叟院横の窪地造成後の後利用につきましては、前回の対策委員会後に役場庁舎内におきまして、横断的な協議、検討を行ったところであります。結論としまして造成後の利用は、防災、道路用の資材を置くためのヤードとして、建設水道リニア対策課で管理する方針です。

二つ目の補強土壁テールアルメ構造の安全性の担保についてですが、令和 2 年と令和 5 年に道路設計を行っております。その当時から現在の職員も変わっていることもあり、先ほど申し上げました技術顧問と現在の担当職員と改めて当時の設計成果の書類を確認したところであります。土工や構造など 28 項目の照査項目がチェックされていることを確認しました。

また、第三者的な立場の組織としまして、下伊那 13 町村の設計や施工管理などを委託する公的機関であります、下伊那土木技術センター組合へ、設計業者とのヒアリングや書類の確認をしていただきました。第三者の立場として、基準に基づき適正に設計がされていることを確認いただいております。

今後につきまして、現在準備段階の工事に入っておりますが、構造物の施工管理につきましては、下伊那土木技術センター組合にも随時確認をしながら進めていきたいと思っております。

質問された委員につきましては本日欠席であります、今申し上げました回答内容について、あらかじめ説明をさせていただいております。前回委員会からの報告説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

（委員長）

皆様方から質問ございましたらお願いしたいと思います。

特に質問はないということで、先に進めさせていただきます。

続きまして、括弧 2 番、発生土運搬について、JR 東海から説明をお願いいたします。

（JR 東海）

JR 東海より資料に基づき説明

(委員長)

委員の皆様から質問等ございましたら資料のページ番号を示しながら質問をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(委員)

6 ページですが、南アルプストンネル、また伊那山地トンネルの進捗率を見ますと、約半分ぐらいということだと思います。

残土は前河原へ運んで、その次は福与圃場整備ということで、当初福与圃場整備が始まる数年前には、もしかしたら福与まで回らないのではないかという情報がありました。

この進捗率からいくと、福与圃場整備があってもまだまだ大量の発生土が運ばれるのではというふうに思うのですが、見通しとしてはいかがか。

(JR 東海)

ただいまいただきましたご質問ですが、前河原それから福与河原へ入れられないのではないかというご意見ですが、大鹿村から出る発生土、飯田市から出る発生土を含めまして、松川町内では前河原と福与河原は全て発生土で整備ができるという予定でございます。

それ以外ですと、今飯島町で計画しております場所と県内全体で協議箇所がございますが、それら含めると県内で発生する発生土は全てまかなえるという状況でございます。

確定していないところがありますので、協議中の場所全て調整ができれば、今の県内の発生土が全てまかなえる状況でございます。

ですが、今の福与河原と前河原は、大鹿村から運搬していきますし、状況によっては来年度、飯田市から運搬という可能性がございます。その後は飯島町という予定でございまして、今のところこの地区において、発生土は順調にいけば、すべてまかなえるという状況でございます。

(委員)

そうすれば福与で完了ということではなくて、またさらに次は飯島町、さらに候補地があれば、運搬されるといったことでよろしいでしょうか。

(JR 東海)

おっしゃる通りでございますが、まだはっきりと決まってないところもございますので、決まり次第順次お知らせをさせていただきたいと思います。

（委員長）

他にはいかがですか。

（委員）

林叟院横の窪地の埋め立ての件ですが、前回の説明よりも工程が遅れているような気がします。今後の工程と最終の工期に変更があるかどうかをお聞かせいただきたいと思います。よろしくお願いします。

（JR 東海）

当初 6 月以降準備でき次第ということで予定しておりましたが、工事の着手自体は 6 月の末から着手しておりまして、7 月から窪地伐採等を始めております。5 月・6 月の工事の計画を深度化していく中で、排水溝の設置を、当初木が生い茂っていたため、細かいところまでは把握できなかったのですが、伐採した後、排水溝の設置等を考えると、既存のものが使えず、特注製品を発注しています。これを製作するのは若干時間がかかるということで、今伐採が終わりまして、製作が終わるのを待っているという状況です。

作業は引き続き行っていくますが、本格的に埋める作業は、9 月上旬ぐらいから予定しています。今の予定でいきますと、天候等にも左右されますが、順調にいけば準備作業が終わって、本格的に搬入できるのが 9 月上旬からと予定では 2 ヶ月から 3 ヶ月ぐらいかかるという予定です。こちらも天候等によって運搬できないところもございますので、今のところ 11 月末頃には完了する予定でございます。

（委員）

工事が遅れないように、くれぐれもお願いしたいと思います。

（JR 東海）

承知いたしました。ありがとうございます。

（委員長）

他にご質問ございませんか。

それでは JR 東海からの説明に対しての質問は以上ということで、閉じさせていただきます。

その他ということで、皆様が何かご意見ございましたらお願いします。

ないようであれば、本日の会議は閉じさせていただきますが、よろしいでしょうか。

会議事項は以上となりますので、司会を事務局にお返ししますので、よろしくお願いいたします。

（事務局）

運搬につきましても町として JR 東海と連携して、また地域住民の方へ周知して進めてまいりたいと思います。よろしくお願いします。

5 番閉会について菅沼副委員長お願いをいたします。

（副委員長）

以上をもちまして、松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会 32 回を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。